

# 奈良県立美術館ギャラリー企画 伝統文化の現在 荒井恵子

## いろいろのいろ墨のいろ ～奈良の100の墨をめぐって

奈良県立美術館では無料スペースの一角に地域ゆかりのアートや文化、教育活動を紹介する目的でギャラリーを開設しました。このたびのギャラリー企画では「伝統文化の現在」をテーマに、アーティストによるリサーチ・プロジェクトをご紹介します。

水墨画家／現代美術作家の荒井恵子（1963年、東京生まれ、千葉県在住）は、墨運堂製の「百選墨」を使った作品制作をとおして墨による表現の可能性を追求しています。本展では、荒井が墨づくりのさまざまな現場を訪れ、その場でつくられた墨を使って作品を制作します。また、リサーチの過程をインタビュー動画や写真等によって紹介する展示も予定しています。

会期中には、奈良の墨づくり職人を招いて「にぎり墨」の体験会を実施したり、アーティストと評論家による対談などを実施したり、これらをとおして「奈良の墨づくり」について考えます。本展をとおして「伝統文化の現在」を体感し、奈良の風土や文化に想いを馳せていただけると幸いです。

会期：令和7（2025）年4月5日（土）～5月18日（日） 開館時間 9：00～17：00（入館は16：30まで）

休館日：月曜日、5月7日（水） ※5月5日（月・祝）は開館します。

会場：奈良県立美術館 ギャラリー 入場無料

主催：奈良県立美術館

協力：株式会社岩野平三郎製紙所、株式会社墨運堂、福西和紙本舗、MOMENT Contemporary Art Center

### 【関連イベント】

#### ○アーティストトーク「対談：今日の墨表現」

4月5日（土）14：00～15：30（13：30受付開始）

講師：建畠哲（美術評論家、埼玉県立近代美術館館長）、荒井恵子（出品作家）

会場：当館1階レクチャールーム（定員60名、予約不要、当日会場にお集まりください）

#### ○体験イベント「墨玉から墨づくり～墨の話～」

墨玉を手で握って「にぎり墨」をつくります。奈良の墨づくり職人さんの話を聞きながら、生墨の温度や柔らかさ、香りを体験してみましょう。

5月10日（土）

①10：30～11：30 小学生（要保護者同伴）、定員10名、参加費：1100円

②13：30～14：30 どなたでも、定員20名、参加費：2200円（桐箱含む）

講師：荒井恵子（出品作家）／協力：株式会社墨運堂

会場：当館1階レクチャールーム（事前申込制・先着順）

※申込方法など詳細は当館ホームページをご覧ください。

【イベント】\*開催場所、申込方法を事前にご確認ください。

## ○講演会「水墨画の現在－奈良の墨をめぐる」

3月14日（金） 17：00～19：00

会場：奈良まほろば館 2階イベントルームA(東京都港区新橋1丁目8-4 SMBC新橋ビル2F)

講師：島尾新（美術史家／元学習院大学教授）、荒井恵子（出品作家）

定員：50名(事前申込制・先着順)

申込・お問い合わせ：奈良まほろば館 情報発信課 TEL：03-5568-7081 / FAX：03-5568-7082

<https://nara-mahoroba.pref.nara.jp>

## ○「写真展 荒井恵子 大和とこしえの墨」

3月14日（金）～3月31日（月） 11：00～20：00 入場無料

会場：奈良まほろば館 Cafe and Bar まほら

### 【本展担当連絡先】

奈良県立美術館 学芸課長 山本雅美

〒630-8213 奈良県奈良市登大路町10-6 Tel. 0742-23-3968

e-mail: [narakenbipress@office.pref.nara.lg.jp](mailto:narakenbipress@office.pref.nara.lg.jp)

### 【作家紹介】

荒井恵子 Keiko ARAI



（本展へのメッセージ）

“墨を磨る”

そこから表現は始まっています。  
呼吸のリズムと連動するように墨を磨り、向き合うほどに発見があり、それぞれの墨の個性に驚き、感動し、好奇心が尽きることがありません。墨から多くのことを学んでいます。墨や和紙の声を聴き、語らいながら制作を続けてきました。墨の生まれたこの地・奈良で、墨の新たな表現の可能性を探求できたらと思います。

1963年、東京都生まれ、千葉県在住。水墨画家／現代美術作家。現代における墨と和紙による表現の可能性を追求している。近年の主な展覧会に、個展「つくりかけラボ14 荒井恵子 | 和紙のフトコロ 墨のダイゴミ」（千葉市美術館、2024年）、個展「白と黒の間」（ふなばしアンデルセン公園子ども美術館／千葉、2022年）、個展「荒井恵子 船橋三部作一宝成寺・三番瀬・玉川」（船橋市民ギャラリー／千葉、2021年）、個展「One Hundred Shades of Grey」（The Storrier Stearns Japanese Garden / ロサンゼルス、2019年）、個展「いろいろのいろ墨のいろー荒井恵子と子どもたち」（富山県水墨美術館／富山、2019年）、個展「岡太神社・大滝神社 千三百年大祭記念事業 荒井恵子の世界 墨と和紙 そのあわい」（越前和紙の里 卯立の工芸館／福井、2018年）など。新たに映像や写真の表現にも幅を広げ活動している。

作家HP: <https://www.keikoarai.com>

広報用作品画像※掲載をご希望の方は番号でお知らせください。掲載の際には作品情報(太字)を掲載下さい。

1		<p><b>荒井恵子</b> <b>《日々刻々—いろいろのいろ墨のいろ》(部分)</b> <b>2025年</b> サイズ可変 墨／和紙 作家蔵 ※本作品は出品作品です。</p>
2		<p><b>荒井恵子</b> <b>《artisan-奈良墨 20241206》</b> <b>2024年</b> 写真 作家蔵 ※本作品は出品作品です。</p>
3		<p>(参考作品) <b>荒井恵子</b> <b>《白ト黒ノ間》</b> <b>2022年</b> <b>ふなばしアンデルセン公園子ども美術館での展示風景</b> サイズ可変 墨／和紙 作家蔵 ※本作品の展示はありません。参考イメージです。</p>
4		<p>(参考資料) <b>百選墨 No. 75 を使った制作風景</b></p>
5		<p>(参考資料) <b>墨運堂製 百選墨 (部分)</b> 作家蔵</p>